

令和7年7月3日
(資料提供)

(事務担当) 所属名：農林総合研究センター 農業試験場 中央普及支援センター 病害虫防除室 直通：257-6972
--

令和7年度病害虫発生予報第4号について

今後 発生が予想される水稻、大豆、果樹、野菜、花きの病害虫の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 7月中旬～8月上旬

2 予報内容

(1) 水 稻

斑点米カメムシ類の発生は**多**と予想される。出穂後の好天により水田侵入が助長されるので、防除を徹底し、斑点米の発生防止に努める。【病害虫発生予察注意報第2号（令和7年7月3日付）参照】

セジロウカ、フタオビコヤガの発生は**やや多**と予想される。今後の発生状況に留意するとともに、基幹防除を徹底する。

紋枯病の発生は**やや多**と予想される。発病を確認した場合、直ちに防除を実施する。

(2) 大 豆

ウコンノメイガの発生は**やや多**と予想される。7月6半旬に1茎あたり葉巻数が2個を超えた場合、直ちに防除する。

アブラムシ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

(3) 果 樹

ハダニ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。発生減となる下草を刈り取った後に防除する。

ナシ黒星病及び**カキ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前後の防除を徹底する。

(4) 野 菜・花 き

オオタバコガ及び**シロイチモジヨトウ**の発生は**多**と予想される。若齢幼虫の防除を徹底するとともに、施設栽培では、開口部に寒冷紗等を設置して成虫の侵入を防止する。

ネギハモグリバエの発生は**多**と予想される。抵抗性の獲得を防止するため、同一系統の薬剤は連用しない。

トマトキバガの発生は**多**と予想される。発生を認めたらすぐに防除を行う。

軟腐病の発生は**多**と予想される。作業中は作物を傷つけないように注意するとともに、害虫防除を徹底する。

スイカつる枯病及び**ネギ黒斑病**の発生は**やや多**と予想される。ほ場の排水に努め、降雨前後の防除を徹底する。

アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病虫害防除実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。